

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
	ボランティア活動 C Volunteer Activities C	西原 麻里	専門	1	選択	3年集中後期
科目の概要						
この授業は、ボランティア活動をつうじて社会教育主事になるために必要なスキルや能力を身につけることを目的とする。社会教育はあらゆる社会領域・生涯学習にておこなわれるものである。社会活動としてボランティアに参加することで、現代における社会教育やボランティア活動の意義を考え、自身の生活や将来に役立てる。						
学修内容			到達目標			
① ボランティア活動に参加する。 ② 活動現場で出会う方々とコミュニケーションを取る。 ③ 社会教育やボランティアの意義を、実践をつうじて考察する。			① ボランティア活動に積極的に参加することができる。 ② コミュニケーションをつうじて、自分の役割を見出す。 ③ 現代社会におけるボランティア活動の意義を知り、自身の生活や将来に役立てることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	積極的にボランティア活動に参加する。				
	働きかけ力					
	実行力	ボランティア先での自分の役割を果たす。				
考え抜く力	課題発見力	必要とされていること・求められていることを把握する。				
	計画力					
	創造力	自分にできることや新たな活動のあり方を考える。				
チームで働く力	発信力	ボランティア活動では自分から積極的に行動することができる。				
	傾聴力	指導担当者やその他の人びとの話をよく聞く。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ボランティア活動でのルールを遵守する。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。 参考文献:事前事後の指導などで適宜指示する。						
他科目との関連、資格との関連						
社会教育主事科目						
学修上の助言			受講生とのルール			
ボランティア活動における自身の目標や活動内容、活動の意義を明確にしておくこと。 参加するボランティア活動の内容をあらかじめ学修し、活動先での期待に応えられるようにしておくこと。			活動先でのルールを遵守すること。 ボランティア活動の意義をつねに意識すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト		①	
		②	
		③	
レポート	60	①	✓
		②	✓
		③	✓
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓
		②	✓
		③	✓
作品		①	
		②	
		③	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>S: ボランティア活動で自身の役割を果たし、活動先で良い評価を得ること。ボランティア活動で得た学びを、自身の目標につなげることができている。現代社会におけるボランティア活動の意義を理解できている。</p> <p>A: ボランティア活動で自身の役割を果たし、活動先で良い評価を得る。現代社会におけるボランティア活動の意義を理解できている。</p>	<p>ボランティア活動で自身の役割を果たし、活動先で良い評価を得る。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ボランティア活動の事前指導	ディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習) ボランティア先について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
2週 /	ボランティア先について調査し、ボランティアのために必要な知識を学ぶ			(復習) 活動の目標や取組内容をまとめる。		
3週 /	ボランティア活動の実践 活動先で自身の役割を把握し、積極的に活動をおこなう。ボランティアとしての役割を果たす。 他者とコミュニケーションをとり、協調し、必要とされていることや求められていることを理解する。	ボランティア先での実践的活動 ボランティアで得た学びのまとめ	ボランティア先で活動をおこない、自身の役割を果たす。	(予習) 活動先で求められていることについて調査する。 ボランティアの方法を学ぶ。 (復習) 活動内容を記録する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
4週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
5週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
6週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
7週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性
8週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
10週 /	ボランティア活動の実践			(予習) 活動先で求められていることについて調査する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
11週 /	活動先で自身の役割を把握し、積極的に活動をおこなう。ボランティアとしての役割を果たす。他者とコミュニケーションをとり、協調し、必要とされていることや求められていることを理解する。	ボランティア先での実践的活動 ボランティアで得た学びのまとめ	ボランティア先で活動をおこない、自身の役割を果たす。	ボランティアの方法を学ぶ。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
12週 /				(復習) 活動内容を記録する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
13週 /					90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
14週 /	ボランティア活動の報告	プレゼンテーション ディスカッション	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習) 活動内容を報告する準備を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
15週 /	活動内容について報告する	質疑応答		(復習) 活動を振り返り、レポートを執筆する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力